



5月号

園長だより

H28. 4. 28
新渡戸文化子ども園

「家族」と「噂話」

新年度が始まり1か月が過ぎ、子どもたちの笑顔が新緑の中に輝いています。芝生で走り回る姿は、先生方だけでなく、学園を訪れたお客様方のお顔にも笑顔を運んでいます。

保育テーマ、26年度「食育～まごわやさしい～」27年度「夢育～you make a dream～」に引き続き、本年度テーマを先生方と話し合い

「共育～家族～」

としました。保育内容を、このテーマに添い展開していきます。行事などのテーマにもなりますので、子ども達や先生方のアイデア等楽しみにしていただけたらと思います。

「家族」というとまず思い浮かぶのはご自分の家族の皆様のお顔ではないでしょうか？もちろん、お子様に関わる家族メンバーすべての方だけでなく、遠方のおじいちゃん、おばあちゃんもそうですね。

子どもたちはどうでしょう？きっと、お父様、お母様から始まり、ご兄弟がいればその名前をいうことでしょう。「親心」で心を込めて保育をしている私たちにとりましては、時に「子ども園のおかあさんは〇〇先生！」と、きれいな瞳で真っ直ぐに見て言われると心にぐっとくるものがあります。

テーマ「家族」の意味を子どもたちと一緒に考えながら、そして子どもたちにとりまして、私たちが「家族」となれるよう、日々を過ごしてまいりたいと思っています。ご家庭でも、「家族」について、お子様と、ご夫婦で、おじいちゃん、おばあちゃん、皆様でお話をしてみてはいかがでしょうか？

さて、お子様はその「家族」、特にお母様や担任の事を、規範としてよく見えています。お母様や担任が不安であったり、難しい顔をしていたらお子様も同じようなお顔になります。反対に、笑顔でhappyな、前向きに進んで行こうとしていると、同じようにhappyなお顔になります。お母様や担任が「噂話」を好んでしたり、また「噂話」に振り回されていると、「真実」という確実なものから、「噂話」という不確実なものを感じ取り、とても不安になります。時々、廊下を歩いていると、スカートのすそを引っ張り「園長先生！」と、とても不安そうな表情で見上げているお子様には、HUGをして話を聞かれています。最後に安心の笑顔を見るとホッといたします。

「親の背を見て子は育つ」

子どもたちに、どんな細かい事までも見られているんだという良い緊張感を持ち、規範となっていけるよう、子、保護者、先生と、皆が新渡戸文化子ども園「家族」となれることを願っています。

「園長先生は、園長っていう名前なの？」（大きな笑顔）

つ
ぶ
や
き

「いいえ、鈴木という名前ですよ。」

「園長は、下の名前？」

「いいえ、恵美子という名前ですよ。」

「じゃあ、鈴木恵美子（息継ぎしてから）園長先生だね。」

（それ以来、毎回そのように呼んでくれ、途中で息継ぎがある度に、こちらも息継ぎをして笑顔です）

